

- 問1 世界の住居に見られる「高床式」の建築様式について、シベリアなどの寒冷地で見られるものと、東南アジアなどの熱帯で見られるものを比較した記述として正しいものはどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. シベリアの高床式は地面からの放射冷却を防ぐ目的であり、熱帯の高床式は地面からの反射熱を避ける目的である。 | 2. シベリアの高床式は永久凍土が溶けて地盤が緩むのを防ぐ目的であり、熱帯の高床式は風通しを良くし湿気や害虫を防ぐ目的である。 | 3. シベリアの高床式は床下に家畜を飼育する空間を作る目的であり、熱帯の高床式は猛獣の襲撃から身を守る目的である。 | 4. シベリアの高床式は積雪による建物の倒壊を防ぐ目的であり、熱帯の高床式はスコールによる洪水被害を防ぐ目的である。 |
|---|---|---|--|
- 問2 サウジアラビアのメッカ付近で見られるような、年間を通して気温が非常に高いにもかかわらず、降水量が極めて少ないために樹木の生育が困難な地域の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|-----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 季節風の影響により夏にまとまった降水があるため、大規模な農業が行われている。 | 2. 降水量よりも蒸発量の方が多いため、地表の水分が不足している。 | 3. 一年中気温が高く降水量も非常に多いため、熱帯雨林が形成されている。 | 4. 高緯度に位置しており、太陽の光が届きにくいため地力が低い。 |
|---|-----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
- 問3 地中海沿岸に位置するイタリアなどの地域における農業の特色について、気候との関わりに着目して説明した文として最も適切なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 夏の涼やかな気候を利用して飼料作物を栽培し、乳牛を飼育して乳製品を生産する酪農が中心となっている。 | 2. 温暖で湿潤な気候を利用して、家畜の飼育と穀物栽培を同程度に行う混合農業が広く行われている。 | 3. 夏の高温と乾燥に耐えるオリーブやオレンジなどの樹木作物と、冬の降水を利用した小麦の栽培を組み合わせている。 | 4. 年間を通じて雨が多い気候を生かし、さとうきびやコーヒーなどの作物を大規模に栽培している。 |
|--|--|--|---|
- 問4 北アフリカなどの乾燥帯に位置する地域では、樹木が育ちにくいと、周囲にある土を固めて乾燥させた「日干しれんが」が伝統的な建材として使われてきました。このような住居において、壁を厚く作り、窓を極端に小さく設計している主な理由として正しいものはどれですか。（2026年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 湿気がこもるのを防ぐために通気性を確保し、激しい雨による建物の腐食を避けるため | 2. 日中の強い日差しを遮り、厚い壁によって室内の温度上昇を抑えるとともに、砂嵐の侵入を防ぐため | 3. 地震が発生した際に、建物が柔軟にシななって揺れを吸収し、倒壊するのを防ぐため | 4. 冬の厳しい寒さに備え、室内の暖房効率を高めるために太陽光を最大限に取り入れるため |
|--|--|---|---|
- 問5 北緯50度付近に位置するロンドンでは、1月の平均気温が約5度、8月の平均気温が約18度と年較差が小さく、同緯度の他の地域に比べて冬が温暖です。このように、高緯度のわりに冬が暖かく、降水量が年間を通じて安定している気候をもたらす主な要因の組み合わせとして、適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 中緯度付近を一年中吹く偏西風と、高緯度まで北上する暖流の北大西洋海流 | 2. 赤道付近から吹く貿易風と、南極付近から北上する寒流のペルー海流 | 3. 北極付近から吹き下ろす極東風と、北太平洋を循環する寒流の親潮 | 4. 夏と冬で吹く向きが逆になる季節風と、日本付近を北上する暖流の黒潮 |
|---------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
- 問6 宗教と人々の生活文化の関わりについて述べた文として、統計的な背景と因果関係が正しいものを次の中から選びなさい。（2018年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 西アジアや北アフリカの国々では、イスラム教の戒律によって豚肉の摂取が禁じられているため、他の家畜に比べて豚の飼育頭数が極端に少ない。 | 2. インドなどの南アジア諸国では、ヒンドゥー教によって豚肉を食べる習慣が一般化しているため、牛の飼育を上回る統計が示される。 | 3. 東南アジアのイスラム教徒が多い地域では、経済発展に伴い宗教的な禁忌が緩和され、豚の飼育頭数が急速に増加している。 | 4. 地中海沿岸の国々では、キリスト教の影響で羊の肉を食べることが禁じられているため、豚や牛の飼育が中心となっている。 |
|---|---|---|---|
- 問7 二酸化炭素の排出量が多い中国やインドなどの国々は、国際的な排出削減の話し合いにおいて、先進国に対して「公平な負担」を求める主張をすることがあります。これらの国々が主張する、削減義務に関する背景として最も適切な説明はどれですか。（2019年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 産業革命以降、長年にわたって二酸化炭素を排出し続け、現在の地球温暖化を招いたのは先進国であるという考え方 | 2. 新興国には森林が多く、二酸化炭素の吸収量が排出量を上回っているため、統計上の数値は無視できるという考え方 | 3. 新興国は人口が多いため、国全体の排出量は多くても、一人あたりの排出量は先進国より少ないため削減は不要であるという考え方 | 4. 先進国が高度な環境技術を無償で提供しない限り、新興国には排出を制限する国際法上の義務は一切発生しないという考え方 |
|---|---|--|---|
- 問8 南北アメリカ州の主要国であるアメリカ合衆国とブラジルは、ともにヨーロッパ諸国との歴史的なつながりからキリスト教を主に信仰していますが、伝統的な食文化には違いが見られます。宗教はキリスト教が主流であり、かつ伝統的な食文化において米を主食として取り入れている国として、最も適切な国を選びなさい。（2024年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-----------|---------|------------|
| 1. カナダ | 2. アルゼンチン | 3. ブラジル | 4. アメリカ合衆国 |
|--------|-----------|---------|------------|
- 問9 世界の宗教別人口割合を示した統計資料において、アメリカ合衆国で最も高い割合を占め、ドイツではその誕生を祝うクリスマスマーケットが伝統行事として定着しているなど、ヨーロッパや南北アメリカ大陸を中心に世界で最も多くの信者が信仰している宗教を選びなさい。（2023年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|-------|----------|
| 1. ヒンドゥー教 | 2. イスラム教 | 3. 仏教 | 4. キリスト教 |
|-----------|----------|-------|----------|
- 問10 ある農産物の2013年における世界生産量シェアを見ると、1位の中国が15.0%、2位のイタリアが10.4%、3位のアメリカ合衆国が10.0%を占めています。イタリアが世界有数の生産国となっているこの農産物の名称と、その栽培がイタリアで盛んな理由の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2017年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. パナナ：熱帯の気候が必要であり、イタリア南部が一年中高温多湿であるため。 | 2. 綿花：夏に大量の水を必要とするため、アルプス山脈からの雪解け水を利用できるため。 | 3. 小麦：夏に多くの雨が必要のため、地中海沿岸の湿潤な夏季の気候を利用できるため。 | 4. ぶどう：夏の乾燥に強いという特性が、地中海沿岸の気候に適しているため。 |
|---|---|--|--|
- 問11 南アメリカのアマゾン川流域で行われている伝統的な農業において、森林を燃やす理由として最も適切な説明はどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 森林を燃やして生じる灰を肥料にすることで、養分の乏しい熱帯の土地で農作物を育てるため。 | 2. 燃やした後の広大な土地を大規模な農園とし、輸出用のコーヒーやカカオを栽培するため。 | 3. 森林を燃やすことで地面の温度を上げ、寒冷な気候でもトウモロコシが育つようにするため。 | 4. 害虫を駆除するとともに、灰を家畜の飼料に混ぜて大規模な放牧を行うため。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 シベリアの高床式は永久凍土が溶けて地盤が緩むのを防ぐ目的であり、熱帯の高床式は風通しを良くし湿気や害虫を防ぐ目的である。	同じ「高床式」という建築様式でも、気候帯によってその目的は大きく異なります。シベリアのような寒冷地では、建物からの熱が永久凍土に伝わるのを防ぐという、地盤の安定を目的とした合理的な工夫です。一方で熱帯地域の高床式は、高温多湿な環境における通気性の確保や、地面からの湿気、不快な害虫の侵入を防ぐために行われており、それぞれの地域の環境に適応した知恵といえます。
問2	答え 2 降水量よりも蒸発量の方が多いため、地表の水分が不足している。	乾燥帯を定義する重要な要素は、降水量と蒸発量のバランスです。メッカのように気温が非常に高い地域では水の蒸発が激しく、わずかな降水があってもすぐに失われてしまうため、樹木が育つのに十分な水分を土壌に蓄えることができません。熱帯は「気温が高く、降水量も多い」地域を指すため、降水量が極端に少ない場合は乾燥帯に分類されます。
問3	答え 3 夏の高温と乾燥に耐えるオリーブやオレンジなどの樹木作物と、冬の降水を利用した小麦の栽培を組み合わせている。	地中海沿岸地域では、夏は高温で乾燥し、冬に一定の降水が見られます。この気候に適応するため、夏には乾燥に強いオリーブやオレンジなどの樹木作物を育て、雨が降る冬の時期に小麦を栽培しています。
問4	答え 2 日中の強い日差しを遮り、厚い壁によって室内の温度上昇を抑えるとともに、砂嵐の侵入を防ぐため	降水量が極めて少ない乾燥帯では、日中の気温が非常に高くなる一方、夜間は急激に冷え込みます。厚い土壁は断熱材の役割を果たし、外の熱気が室内に伝わるのを遅らせる効果があります。また、窓を小さくすることで、外からの熱風や砂塵（砂嵐）が家の中に入るのを防いでいます。これは、アマゾン川流域のような熱帯雨林地域で風通しを重視する高床式の住居とは対照的な工夫です。
問5	答え 1 中緯度付近を一年中吹く偏西風と、高緯度まで北上する暖流の北大西洋海流	ヨーロッパ西岸が北緯50度を超える高緯度であっても温暖なのは、暖流である北大西洋海流の上を、西からの偏西風が吹き抜けることで、温められた湿った空気が陸地へ運ばれるためです。この影響で冬の寒さが和らぎ、西岸海洋性気候という特徴的な気候が形成されます。
問6	答え 1 西アジアや北アフリカの国々では、イスラム教の戒律によって豚肉の摂取が禁じられているため、他の家畜に比べて豚の飼育頭数が極端に少ない。	世界の家畜統計を分析すると、宗教的背景が顕著に現れる場合があります。特にイスラム教圏においては、教典であるコーラン（クルアーン）に基づき、豚肉を食べることが厳しく禁じられているため、飼育自体が行われないか、行われてもごく少数にとどまります。これは、牛を神聖視して食べないヒンドゥー教の文化と並び、宗教が食文化や農業の形態を規定している代表的な事例です。
問7	答え 1 産業革命以降、長年にわたって二酸化炭素を排出し続け、現在の地球温暖化を招いたのは先進国であるという考え方	地球温暖化対策の国際交渉では「共通だが差異ある責任」という原則が重視されます。中国やインドなどの新興国は、現在の温室効果ガスの蓄積は過去の先進国の経済活動によるものであるという「歴史的責任」を強調し、新興国の経済発展の権利を尊重するよう求めてきました。これが、排出枠の設定や資金援助をめぐる先進国と新興国の対立の一因となっています。
問8	答え 3 ブラジル	ブラジルはかつてポルトガルの植民地であった歴史的背景から、キリスト教（主にカトリック）が深く根付いています。また、南米の国々の中でも、伝統的に豆料理とともに米を主食として食べる文化が定着しているのが特徴です。一方、アメリカ合衆国もキリスト教徒が非常に多い国ですが、伝統的な主食は小麦（パンなど）が中心であるため、米を主食とする文化的な枠組みではブラジルが選ばれます。
問9	答え 4 キリスト教	ヨーロッパ諸国から南北アメリカ大陸へと広まった歴史的背景を持ち、現在世界で最も信者数が多い宗教です。ドイツなどのヨーロッパ諸国では、生活習慣や文化に深く結びついており、宗教別人口割合でも欧米諸国で高い数値を示す特徴があります。対照的に、イランはイスラム教、インドはヒンドゥー教、タイは仏教の割合がそれぞれ高くなっています。
問10	答え 4 ぶどう：夏の乾燥に強いという特性が、地中海沿岸の気候に適しているため。	イタリアは地中海沿岸に位置し、夏に乾燥する地中海性気候を活かした地中海式農業が盛んです。統計にある「イタリアが世界第2位のシェアを占める農産物」はぶどうを指しており、これはワインの原料などとして重要な輸出品となっています。バナナは熱帯、綿花は灌漑や高温が必要な地域で主に栽培されます。また、小麦は地中海式農業でも栽培されますが、イタリアでは夏の乾燥期ではなく冬の降水を利用して栽培されるのが一般的であり、この統計のシェアには該当しません。
問11	答え 1 森林を燃やして生じる灰を肥料にすることで、養分の乏しい熱帯の土地で農作物を育てるため。	熱帯の土壌（ラトソル）は一般に養分が少ない。焼畑農業では、燃焼によって生じたカリウムなどの灰の成分が肥料の役割を果たす。一方で、近年の人口増加や定住化により、森林の再生を待たずに次の焼き払いを行うケースが増えており、熱帯雨林の減少が地球環境問題の一つとして議論されている。